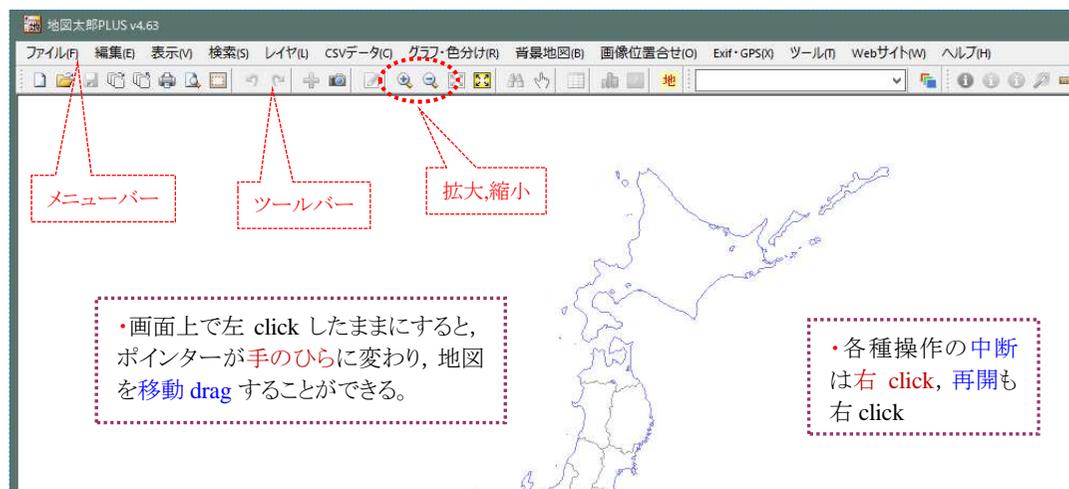


(3) GIS ソフトでできること ; 「地図太郎 PLUS」

1) 立ち上げ … 初期画面

※version によって違いあり。



- ・まずは、目当ての地域の範囲を「拡大ツール」で画面中央に拡大する。
- ・ここでは利府の果樹園の状況を調べようと思うので、そのあたりを画面中央に置く。

2) 「背景地図」を開く

① 【背景地図】を click すると、読み込み可能な地図データの一覧が現れる。

- ・タイル地図, ベクター, ラスター, 標高メッシュに大別されている。

②例として【タイル地図】－【地理院地図】

の標準地図 または 淡色地図を選ぶ。

すると地図が画面に表れるので、果樹園記号が判別できるようになるまで拡大 ⇒右図 (標準地図)



3) 自作の情報をのせる

… 果樹園の部分に着色してみよう。

①【ファイル】⇒【ユーザレイヤの新規作成】⇒【面】に check ⇒ レイヤの名称を入力 (例えば「果樹園」) ⇒【OK】⇒ ポインターが「+面」に変わる。

②地形図の果樹園の範囲を左 click しながらなぞっていく。面の形は後から修正できるので、最初は大雑把になぞってもよい。

③ひと囲みして「面」の図形ができたなら右 click。すると属性情報ボードが開く ↓

・ここで「タイトル」欄に、面域の名称（一連番号、地番など、何でもよい）を入れる。空欄のままでもよい。

・他の欄も必要に応じて情報を入力 … 入力情報は csv ファイル にリストされて、後で Excel で開くことができる。

④【塗り】欄を click するといろいろな色が、その右のパターン窓を選ぶといくつかのパターンが、【境界線】欄では面の外周の色が、その右窓では線の太さがいくつか選べる。

・初期設定の「灰色・網かけ」では目立たないので、見やすい色とパターンに指定する。

⑤【OK】とすると、次の「+ 面」に移行する。

・こうして、「果樹園レイヤ」の上に、多数の果樹畑の面図形を登録していく。

⑥【表示】⇒【表示項目の設定】とすると、使用中の地図とレイヤが一覧できる。その check を入れたり消したりすることで、当該画像を画面上で消したり表示させたりできる。

⑦画面の画像取得：【ファイル】⇒【画面イメージの作成】⇒【ファイル名】欄に適当なファイル名を入れる ⇒【参照】で保存先を指定 ⇒【スケールバー図郭線あり】check ⇒【OK】

⑧ここで【背景地図】－【タイル地図】－【シームレス空中写真】として空中写真を表示させ、さらに【表示】⇒【表示項目の設定】⇒【シームレス空中写真】選択 ⇒【詳細】⇒【透明度】ツマミで少し透明にしてみよう。果樹園が判別できるかな？

⑨終わり方：【ファイル】⇒【終了】 … この際、作成した「レイヤ」を保存するかどうか聞いてくるので、必要なら保存先のフォルダを指定して保存、不要なら【いいえ】。

└ 保存する前に作っておく。

★以上が基本的な作業の流れ。上記の他に各種の GIS データを読み込むことができ、いろいろな地図が作れる ⇒ 別紙の作例を参照

★マニュアルは「地図太郎」サイトに公開されており、ソフトも試用版を取得して 2 週間の試用できるので、トライしてみてください。